

## 「魅力的な生き方がし」～落語に挑戦～

挑戦問題 『あなたはいくつの人生を知っていますか』

本単元で育成する資質・能力

感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

## 期待される生徒の変容

生徒の出会い「運命の本」は、あえて生徒の興味を持ったことのない人物に関する本とし、その中の登場人物の生き方を深く読み取らせる。読み取った情報を、クラスの仲間を紹介することによって、表現力の向上を意識させ発表することによって、参考にした先輩のDVDや友達の発表と自分の発表内容を比較し、自分の表現力の向上を実感させる効果が期待される。

中学校入学後の最初の総合の単元として、「ビブリオトーク」で出会ったさまざまな生き方や、あきらめず挑戦することのすばらしさの価値を学び、自分の生き方につなげて考えようとする態度を育てる。

## 平成29年度の取組より

## Before【生徒の振り返りシートより】

- ・先輩のDVDを見て、最初にクイズを入れているところや、フリップにしかけがあるところが、とても興味を引くポイントになるなと思いました。
- ・「運命の本」なんていやだなと思ったけど、読み進めていくうちに、采谷さんの生き方が、自分とまったく違ってすごいなと思うようになりました。
- ・「運命の本」が野球選手の本でびっくりしました。自分の人生に生かしていけるような発表になればいいなと思いました。
- ・自分の読んだ本で、何をまとめられるか、何が伝えられるか、を考えながら読み、工夫して発表したいです。
- ・「運命の本」はすごくドキドキしながらもらいました。がんばって読みたいです。みんなに伝わるよう、工夫して発表したいです。



「運命の本」を手にとって

## After【振り返り】

- ・私はこれから、自信を持って、人に伝えることができるようになり、自分の役割や使命を考えて自分の目標を設定できるようになりたいと思いました。
- ・僕は小学生の頃は何でもあきらめていたけど、この人のようにあきらめず、努力できる人になりたいと思います。フリップ4のところを、家族やクラスの人に伝えられるように、感謝の気持ちを持って読むことができました。
- ・どのようにすれば伝わるか考え、工夫して練習しました。先輩の仕方を参考にしたり、友達の発表を見て、そのいいところを取り入れたり、自分の悪いところを見直しながら練習することができました。人のいいところを盗むことができたと思います。
- ・読むだけだったら、「ふ～ん」という感じで終わっていたけど、発表しないといけなかったんで、みんなに伝えることを意識したので、いろんな発想ができて良かったと思います。地域貢献のためにいろんな人と仲良くした主人公のことをみんなに紹介することができたと思います。
- ・みんなと練習したので、協力・協働が身につく、いい発表ができたと思います。このルーブリックを生活のいろんな場面で使っていきたいと思いました。
- ・班で練習するとみんながアドバイスをくれてよかったです。一人で練習すると自分の悪いところも勝手に判断して、いいと思ってしまうけど、みんなからきちんとアドバイスしてもらえてとても参考になりました。友達のいいところも見つけることができ、協力・協働の力がついたと思います。今回の力を次の落語で完璧にしたいと思いました。



班練習の様子

## 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・本の選定の段階から、生徒の実態把握を行い、運命の本を準備したのが効果的だった。
- ・時間制限があるため、他の資料をあたる時間がほとんど取れていないので、情報収集を書籍からのみにして、フリップ制作や発表練習に時間を割いた。発表練習では、班での練習に意欲を持って取り組む生徒が多く見られたので、次の単元の落語の練習でも班練習を取り入れていくことが効果があると考えられる。